



令和5年度

パネル展の開催報告

北の住まいるタウンの考え方やこれまでの取組を広く紹介し、まちづくりや地域づくりの参考としていただくため、2つの会場（①北海道庁1階②札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)）でパネル展を開催しました。

道庁会場では307名、チ・カ・ホでは440名の方にご覧いただきました。

日時

令和5年

①9月20日(水)~21日(木) 9:00~17:00

②9月25日(月)~26日(火) 10:00~17:00

会場

①北海道庁1階特設展示場 A ②チ・カ・ホ

来場者

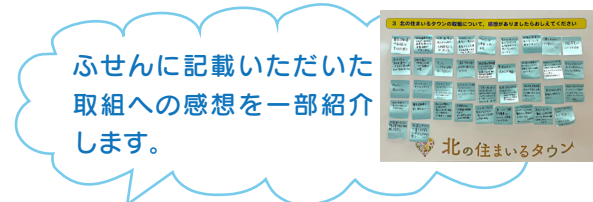
①307名 ②440名

●**会場のようす** 北海道庁と札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)の2会場で取組内容を紹介するパネルを展示しました。



●アンケートの実施

チ・カ・ホでは、関心のある取組にシールを貼ったり、ふせんに感想を記入するなどの簡単なアンケートを実施しました。



- 高齢者が年齢や状況の変化に応じて、安心して移り住んだり、移転後の住宅を活用してもらえる支援や仕組みがあるといい。
- 大型農業など、若い人が就業したくなるような一次産業のIT化が大切。
- 一昨年の大雪のようなときも、雪をエネルギー資源として使えばよい。北海道らしい取組を。
- 北海道では、農業が一番大切。農家さんを応援する取組に力を入れてほしい。
- MaaSは重要だと思います。

関心の高い上位5つは ①空き地・空き家マネジメント ②地域産業活性化、雇用の創出 ③雪氷利用 ④スマート農業 ⑤自動運転MaaSでした。(図中青囲み部分)

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています

発行：北海道（建設部 建設政策局 建設政策課）電話 011-231-4111 内線 29-671（担当：上山）

編集：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者：株式会社石塚計画デザイン事務所

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm

2023年12月発行



facebookページもご覧ください
「北の住まいるタウン」